

☆” ----- STOP 温暖化 ★

埼玉県温暖化対策メールマガジン

第 138 号 2023.7.3

発行：埼玉県 温暖化対策課

★ ----- <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontai-merumaga.html> ☆”

埼玉県の温暖化対策に関する情報をご紹介させていただくために、「埼玉県温暖化対策メールマガジン」を発行しています。メールマガジンをご愛読いただくために、できるだけ皆様のご意見を反映させていきたいと考えていますので、掲載を希望する情報や掲載内容にお気づきの点がございましたら、お知らせくださるようお願いいたします。

—★—

## 目次

—————☆—

コラム

埼玉県地球温暖化防止活動推進員 池上 公子 さん

お知らせ

- (1) 夏季の省エネ・節電にご協力ください。
- (2) エコライフ DAY&WEEK 埼玉 2023 (夏) にチャレンジ (9月30日まで)
- (3) 気候変動適応サイエンスカフェを開催します。
- (4) 中小事業所向け補助金の募集について
- (5) ご自宅への省エネ・再エネ活用設備 (太陽光発電設備・蓄電池・V2H充放電設備・エネファーム) の設置を補助します!

—★—

## コラム

—————☆—

暑い夏の到来、家庭では、エアコン、冷蔵庫、冷風扇風機といった家電が大活躍です。そこで24時間稼働し、食品の品質を保ってくれる冷蔵庫をチェックしましょう。

省エネ性能が向上している冷蔵庫ですが、間違った取り扱い方で、性能の

効果が落ち、無駄な電気を消費します。例えば、

①冷蔵庫の上に物を載せたり、側面にチラシやメモ等を貼らない。(放熱が妨げられ冷却率が低下)

②冷蔵庫内奥には冷気吹き出し口があるので、冷気の通り道を妨げないように収納する。

③冷蔵庫の開け閉めは回数少なく手短かに等。

恥ずかしながら、省エネを心がけていた私自身、ついつい安易な行動から冷蔵庫側面にラップホルダーや紙タオルを設置、庫内の吹き出し口にはストックのバター、チーズが・・・反省し、すぐに改善しました。時には取扱説明書を見て、正しく取り扱っているか見直すことも必要。無駄なエネルギーの消費はなくしたいですね。

埼玉県地球温暖化防止活動推進員 池上 公子

—★—

## お知らせ

—☆—

### (1) 夏季の省エネ・節電にご協力ください。

暑い夏は、エネルギーの使用が増える季節です。ますます省エネや節電の取組が大事になります。日々の暮らしの中で、ぜひ省エネや節電に積極的に取り組ましましょう。

なお、この夏の東京エリアの電力需給は、瞬間的な需要変動に対応するために必要とされる予備率3%以上を確保しているものの、厳しい見通しが示されています。

このため、東京エリアの皆様におかれましては、特に7月と8月は、無理のない範囲での節電へのご協力をお願いします。

※ 太陽光発電の出力が減少し、電力需給が厳しくなる傾向にある点灯帯(17:00-20:00頃)においては、省エネ・節電の取組が重要です。

※ 緊急時には、政府が発信する情報も踏まえながらより一層の節電へのご協力をお願いいたします。

その他、具体的な節電方法については下記の資源エネルギー庁のホームページを御参照ください。

↓資源エネルギー庁ホームページ

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/)

## (2) エコライフ DAY&WEEK 埼玉 2023 (夏) にチャレンジ (9月30日まで)

エコライフ DAY&WEEK は、簡単なチェックシートを利用して省エネ・省資源の取組を体験し、二酸化炭素の削減量や電気代などの節約金額を実感していただくものです。

※取組例「電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜いた」の場合  
1日で二酸化炭素が135グラム、1年で電気代が3,399円節約可能

昨年も学校や職場で多くの皆様に御参加いただきました。チェックシートに取り組んだ項目をチェックするだけで参加できますので、ぜひゲーム感覚でチャレンジしてください。

また、今年度から、新たに「エコライフ DAY&WEEK 埼玉特設サイト」を開設し、スマートフォンやタブレット端末からでも簡単に二酸化炭素の削減量や電気代などの節約金額を実感できるようになりました。

○実施期間 令和5年6月1日～令和5年9月30日

↓エコライフ DAY&WEEK への参加はこちらをご覧ください。(特設サイト)  
<https://ecolife-saitama.jp>

↓エコライフ DAY&WEEK について詳しくはこちらをご覧ください。(県ホームページ)  
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ecolifeday.html>

## (3) 気候変動適応サイエンスカフェを開催します。

埼玉県では、近年3,000名を超える方々が熱中症により救急搬送されるなど、温暖化の進行により熱中症リスクは高まっています。

そこで、埼玉県気候変動適応センターでは、環境疫学の専門家 小野雅司 氏(国立環境研究所)をお招きし、サイエンスカフェを行います。

ご関心のある方は是非ご参加ください。

## 気候変動適応サイエンスカフェ

テーマ：「高まる熱中症リスクと対策」

スピーカー：小野雅司 氏（国立環境研究所 客員研究員）

日時：2023年7月7日（金）18時30分から20時00分まで

場所：オンライン（Zoom開催）

主催：埼玉県気候変動適応センター（埼玉県環境科学国際センター）

参加費：無料（要申込）どなたでもご参加いただけます

参加申込み：<https://saipat.pref.saitama.lg.jp/archives/1484>

## （４）中小事業所向け補助金の募集について

県では、脱炭素社会の実現に向け事業活動における省エネルギー対策を促進するため、中小企業の皆様のカーボンニュートラル・省エネ対策の支援を進めています。

このたび、以下2件の補助金の受付を開始しましたのでお知らせいたします。

～スマート省エネ技術導入事業（CO<sub>2</sub>排出削減設備導入補助金）～

中小企業者等に対し、エネルギーマネジメントシステム（EMS）やIoT等を活用したCO<sub>2</sub>排出量削減のために必要な設備や、測定データの分析方法など省エネ技術の導入について、補助金を交付します。

7月12日（水）まで募集を受け付けておりますので、是非活用を御検討ください。

↓詳細は、下記の県ホームページを御確認ください。

[https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/smart\\_r5.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/smart_r5.html)

《問い合わせ先》

埼玉県環境部温暖化対策課

計画制度・排出量取引担当

TEL：048-830-3049

～暑さ対策設備等導入事業（CO<sub>2</sub>排出削減設備導入補助金）～

空調機の負荷を軽減する遮熱・断熱設備等を導入する中小企業者等に対し補助金を交付します。

7月12日（水）まで募集を受け付けておりますので、是非活用を御検討く

ださい。

↓詳細は、下記の県ホームページを御確認ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/hojokin/r5atusahojo.html>

また、今後、以下の補助金の受付も開始しますので、併せてお知らせいたします。

～CO<sub>2</sub>排出削減設備導入事業～

エネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量削減を進める中小企業者等の省エネ・再エネ活用設備の導入に対し、補助金を交付します

- ・CO<sub>2</sub>排出削減設備導入事業（緊急対策枠）  
募集期間 7月18日（火）～7月21日（金）
  
- ・CO<sub>2</sub>排出削減設備導入事業（通常枠）  
募集期間 7月24日（月）～8月7日（月）

↓詳細は、下記の県ホームページを御確認ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/tyusho-shien.html>

《問い合わせ先》

埼玉県環境部温暖化対策課

計画制度・排出量取引担当

TEL：048-830-3021

## **（５）ご自宅への省エネ・再エネ活用設備（太陽光発電設備・蓄電池・V2H充放電設備・エネファーム）の設置を補助します！**

埼玉県は、家庭部門の脱炭素化を促進するため、自らが居住する既存住宅に新たに太陽光発電設備、蓄電池、V2H充放電設備、エネファームを設置する方に、予算の範囲内において補助金を交付します。

☆補助制度の概要☆

【対象設備】 太陽光発電設備、蓄電池、V2H充放電設備、エネファーム

- 【補助金額】 ①太陽光発電設備  
1kWあたり7万円（上限35万円）  
②蓄電池、V2H充放電設備、エネファーム  
一設備につき10万円
- 【予算額】 5億2,500万円

↓詳しくは下記ページをご覧ください

<https://www.kannet-sai.org/hojokin/>

受付期間は令和6年2月20日（火）までです。申請多数により予算額の範囲を超えた場合は受付を終了することがありますのでご注意ください！

☆

---

埼玉県温暖化対策メールマガジン

発行システム：『まぐまぐ！』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0001206330.html>

★

---